



e|ematec

Heart of Electronics

## 決算説明資料

2011年3月期 第1四半期

2010年7月30日

### エレマテック株式会社

東京証券取引所 市場1部

 高千穂電気株式会社

 大西電気株式会社

# エレマテック株式会社 2011年3月期 第1四半期 説明資料

## 1. 2011年3月期 第1四半期 業績サマリー

### 第1四半期 連結業績状況

(百万円)	10/3期1Q	11/3期1Q	前年同期比
売上高	17,064	26,423	+54.8%
営業利益	455	1,032	+126.8%
経常利益	423	975	+130.1%
四半期純利益	139	627	+350.8%

当第1四半期連結会計期間における当社グループの業績につきましては、エレクトロニクス業界において、「エコポイント」制度の継続や外需の下支えにより、生産が比較的安定して推移したこと及び2009年10月に大西電気株式会社と合併した効果も起因して、売上高・各利益水準ともに前年同期と比べ大きく増加しました。

## 2. 2011年3月期 第1四半期のポイント

業績は期初計画通り順調に推移

合併効果による売上高約30億円も寄与

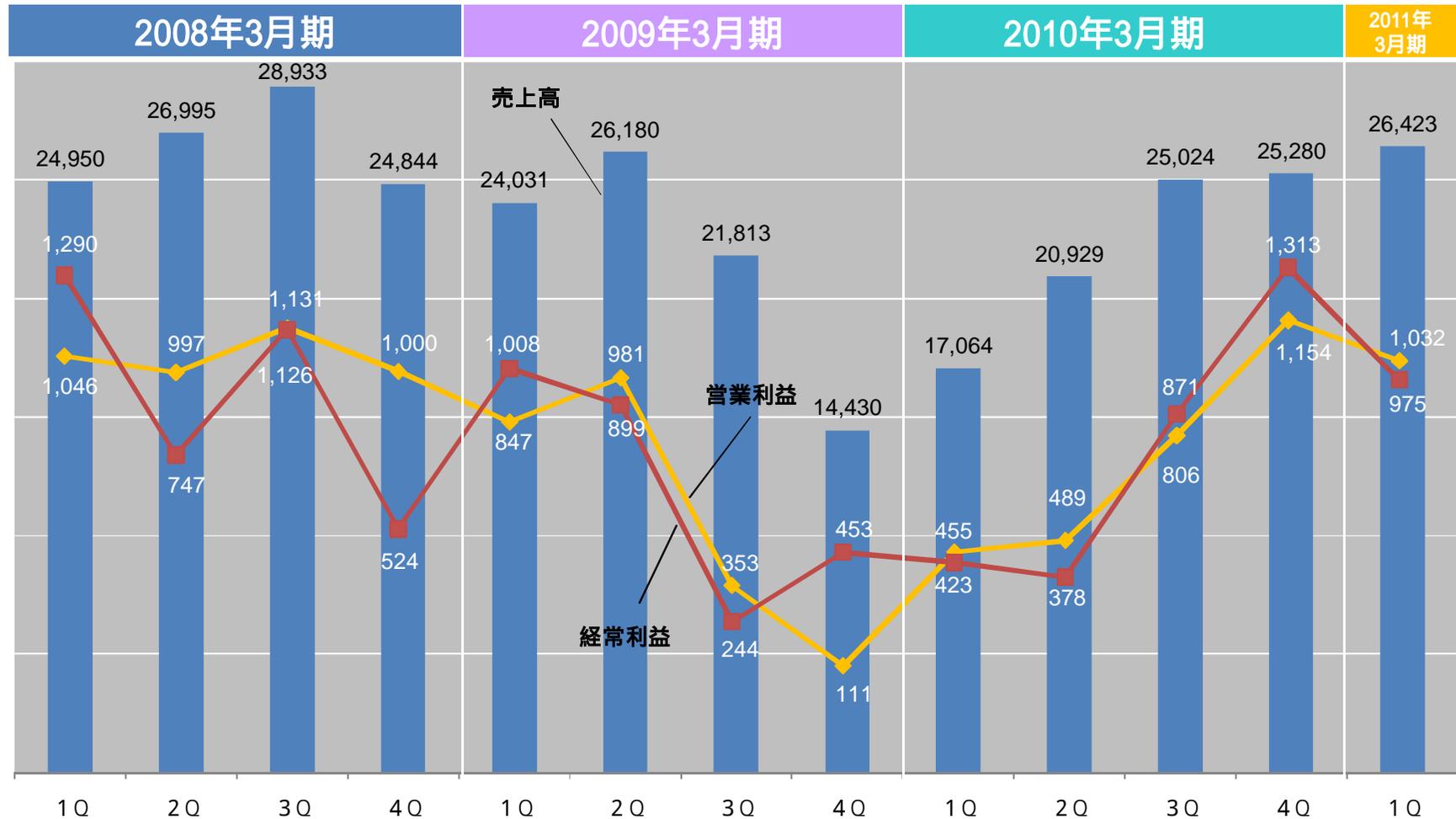
財務の健全性を維持 有利子負債比率1.0%

通期業績予想は、5月7日発表時から据置き

### 3. [連結]四半期毎の業績推移

**Point** 売上高は、年間で過去最高を記録した2008年3月期第1Qを上回る水準でスタート。

単位:百万円



#### 【10/3期4Q VS 11/3期1Q 営業利益・経常利益比較】

11/3期1Qは、10/3期4Qに発生した期末賞与支給額の減額による引当戻入益の特殊要因がなくなった(当期は業績に応じて費用計上)ことにより営業利益が減少し、営業外損益で為替差益(77百万円)から為替差損(129百万円)に転じたことにより、経常利益が減少しました。

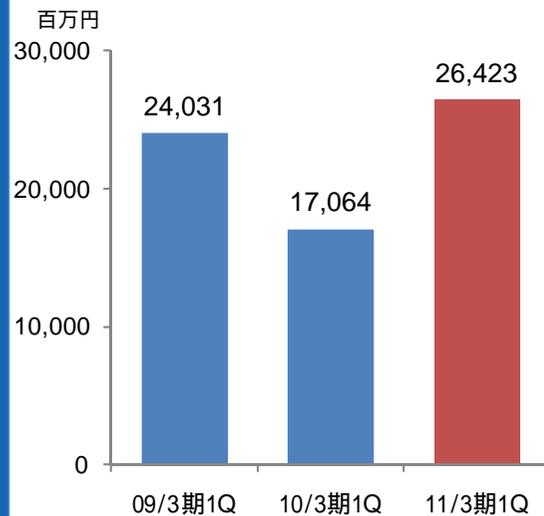
ただし、これらの特殊要因を除くと、10/3期4Qの営業利益は1,081百万円、経常利益は1,163百万円となるのに対して、11/3期1Qの営業利益は**1,117百万円**、経常利益は**1,189百万円**となり、利益水準はともに拡大傾向にあります。

4. 第1四半期 連結売上高: 26,423百万円 前年同期比: +9,359百万円、+54.8%  
 連結営業利益: 1,032百万円 前年同期比: +577百万円、+126.8%

**Point** 期初計画通り順調に推移。営業利益は、売上高増加率を超える水準で増加。

【連結売上高推移】

薄型テレビや液晶デバイス等に関連した部材の販売に努め、「電気材料」「電子部品」「機構部品」「その他」、すべての品目別において前年同期比で増加しました。



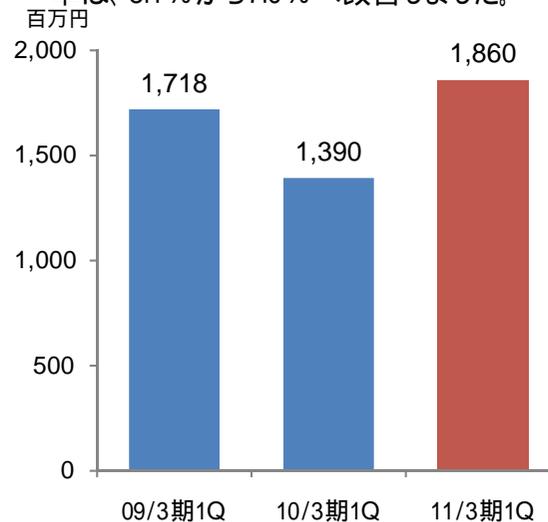
(百万円)	10/3期	11/3期
第1四半期	17,064	26,423

第2Q累計期間	37,994	50,000
通期	88,299	105,000

11/3期の第2Q累計期間、通期は予想数字。

【連結販売管理費推移】

大西電気㈱と合併したことにより、連結従業員数が前年同期比108名の増員になったこと及び売上増加に伴い各種経費が増加したことにより、前年同期比で増加しましたが、売上高比率は、8.1%から7.0%へ改善しました。



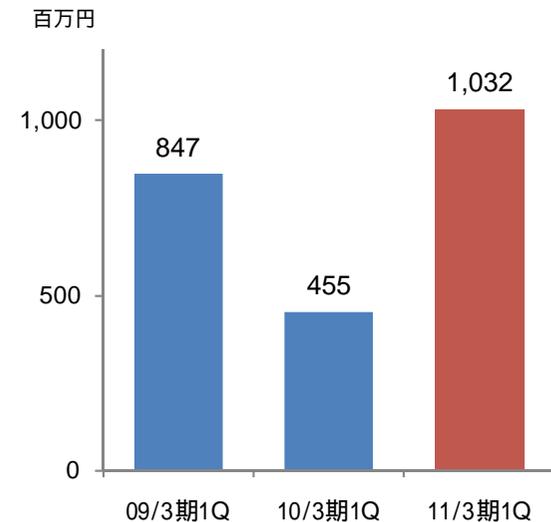
(百万円)	10/3期	11/3期
第1四半期	1,390	1,860

第2Q累計期間	3,071	3,650
通期	6,682	7,400

11/3期の第2Q累計期間、通期は予想数字。

【連結営業利益推移】

売上高増加に伴い売上総利益が増加したことにより、前年同期比で増加しました。



(百万円)	10/3期	11/3期
第1四半期	455	1,032

第2Q累計期間	945	1,800
通期	2,905	3,900

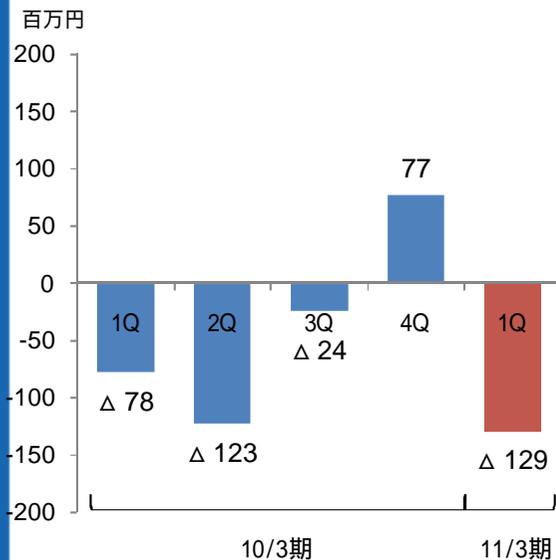
11/3期の第2Q累計期間、通期は予想数字。

5. 第1四半期 連結経常利益：975百万円 前年同期比：+551百万円、+130.1%  
 連結四半期純利益：627百万円 前年同期比：+488百万円、+350.8%

**Point** 為替差損の影響を受けたものの、経常利益・四半期純利益ともに前年同期比大幅増加。

【 四半期別連結為替差損益推移 】

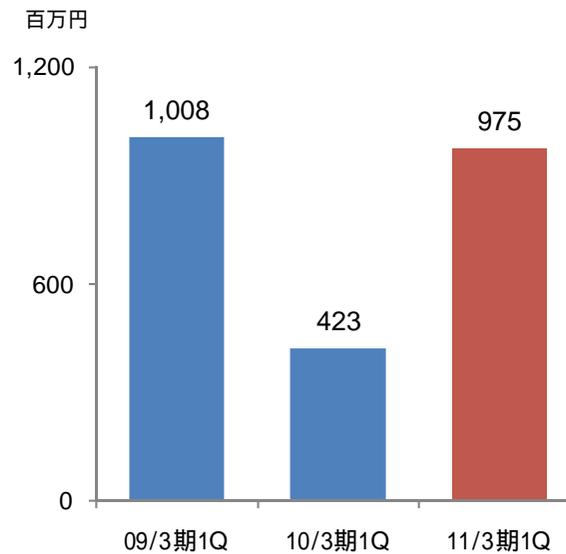
為替予約により為替変動リスクの低減に努めたものの、為替相場が急激に変動したことにより、129百万円の為替差損を計上しました。



(百万円)	10/3期	11/3期
第1四半期	78	129

【 連結経常利益推移 】

為替差損を計上したものの、営業利益の増加により、前年同期比で増加しました。



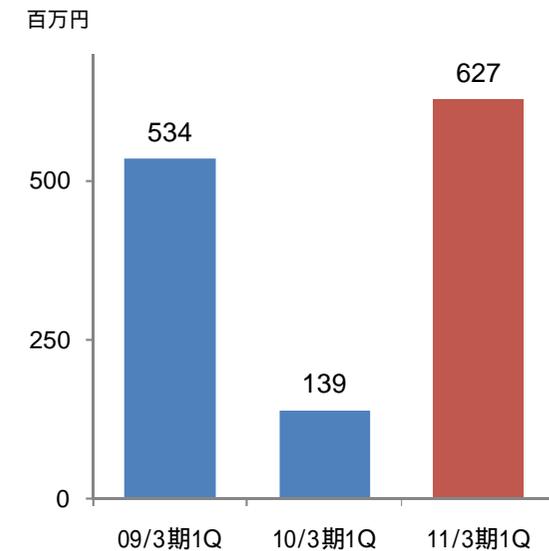
(百万円)	10/3期	11/3期
第1四半期	423	975

第2Q累計期間	802	1,900
通期	2,988	4,150

11/3期の第2Q累計期間、通期は予想数字。

【 連結四半期純利益推移 】

経常利益が増加したことにより、連結四半期純利益は前年同期比で増加しました。



(百万円)	10/3期	11/3期
第1四半期	139	627

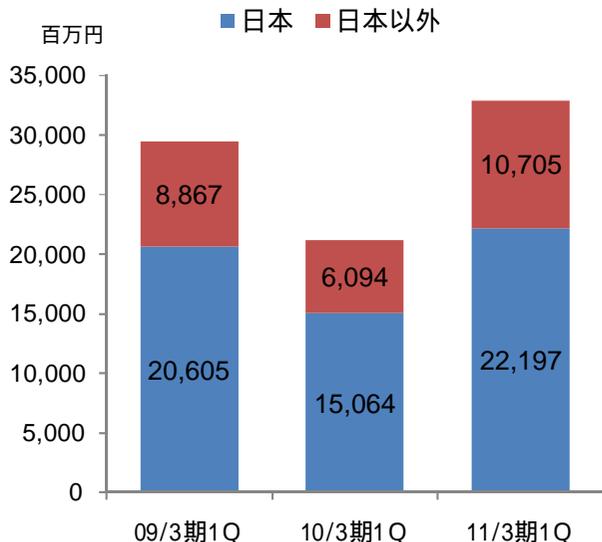
第2Q累計期間	448	1,250
通期	1,868	2,700

11/3期の第2Q累計期間、通期は予想数字。

**Point 売上高・営業利益ともにすべての所在地別で前年同期比大幅増加。**

**【地域別の売上高推移】**

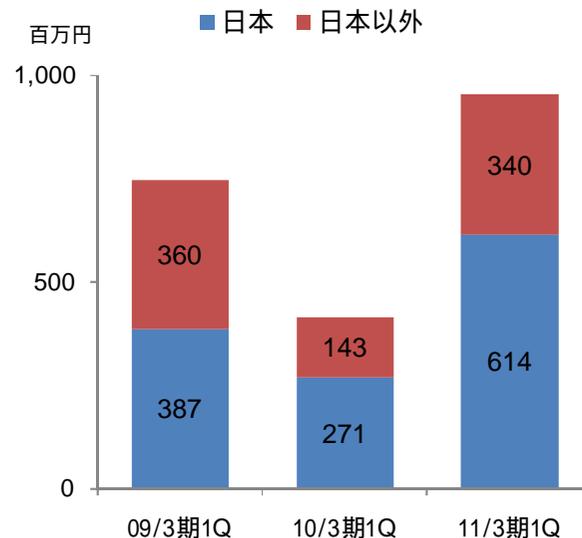
日本は、「電気材料」及び「電子部品」の販売が増加したことにより、前年同期比で増加しました。  
また、日本以外につきましては、中国を中心に「電気材料」の販売が増加したことにより、前年同期比で増加しました。



(百万円)	10/3期1Q	11/3期1Q
日本	15,064	<b>22,197</b>
日本以外	6,094	<b>10,705</b>
(内 中国)	4,111	<b>7,266</b>
(内 その他)	1,982	<b>3,439</b>

**【地域別の営業利益推移】**

日本及び日本以外ともに売上高増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益は前年同期比で増加しました。

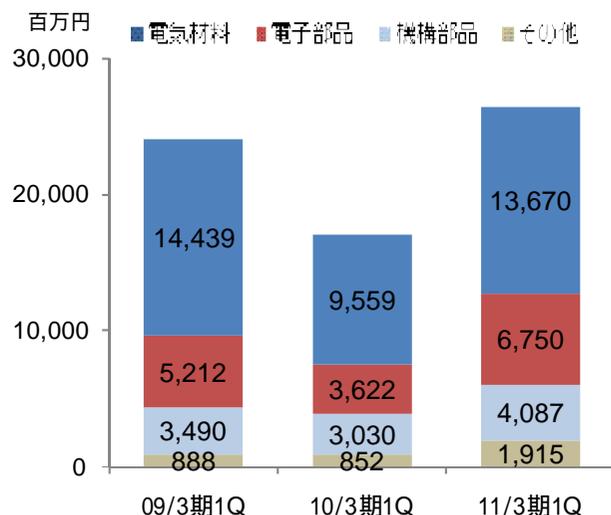


(百万円)	10/3期1Q	11/3期1Q
日本	271	<b>614</b>
日本以外	143	<b>340</b>
(内 中国)	113	<b>276</b>
(内 その他)	30	<b>63</b>

**Point 品目別、海外売上高ともに前年同期比大幅増加。**

**【品目別売上高推移】**

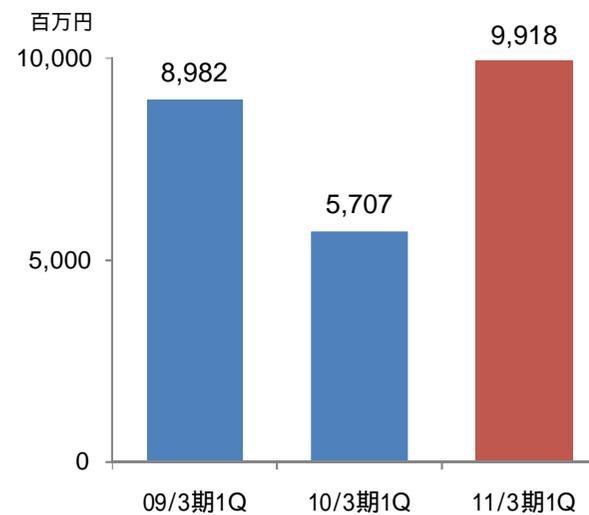
ゲーム機器及び携帯電話向け等部材の販売増により「電気材料」が増加し、PC及び車載向け等部材の販売増により「電子部品」が増加しました。  
また、薄型テレビ及び携帯電話向け等部材の販売増により「機構部品」が増加し、医療機器及びHDD向け等部材の販売増により「その他」が増加しました。



(百万円)	10/3期1Q	11/3期1Q
電気材料 (構成比)	9,559 (56.0%)	<b>13,670</b> <b>(51.7%)</b>
電子部品 (構成比)	3,622 (21.2%)	<b>6,750</b> <b>(25.5%)</b>
機構部品 (構成比)	3,030 (17.8%)	<b>4,087</b> <b>(15.5%)</b>
その他 (構成比)	852 (5.0%)	<b>1,915</b> <b>(7.3%)</b>

**【海外売上高推移】**

円高進行により円換算時の海外売上高が目減りしたものの、アジア・欧州・北米すべての地域で売上高が増加したことにより、前年同期比で増加しました。



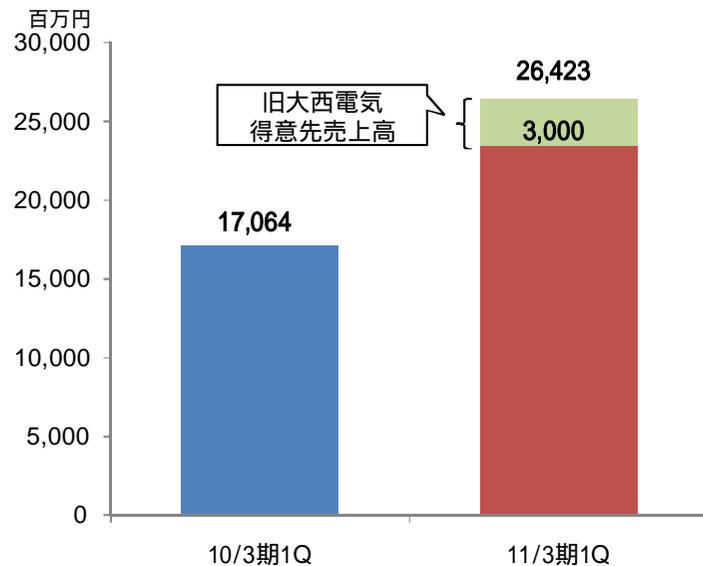
(百万円)	10/3期1Q	11/3期1Q
海外売上高	5,707	<b>9,918</b>
連結売上高	17,064	<b>26,423</b>
海外売上高比率	33.4%	<b>37.5%</b>

## 8. 合併後の前年同期比較

**Point** 売上高は、旧大西電気の売上も寄与し、前年同期比大幅増加。  
 販管費は、コスト抑制及び合併効果により大幅改善。

### 【売上高】

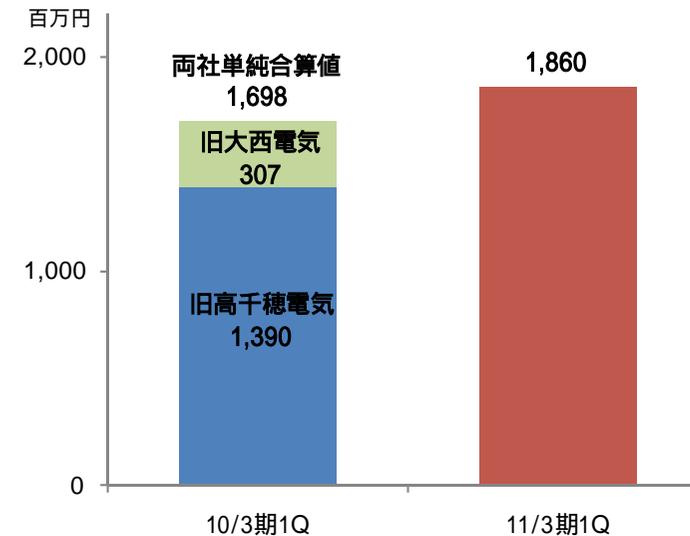
急激な景気悪化の影響から回復傾向に転じたことに加え、合併をした旧大西電気株の得意先(ゲーム機器及び薄型テレビ向けを中心)に対する売上高約30億円を積み上げ、前年同期比で9,359百万円(+54.8%)増加しました。



(百万円)	10/3期	11/3期	増加率
第1四半期	17,064	26,423	+54.8%

### 【販売管理費】

前年同期における両社の販管費単純合算値と比較して、当第1四半期の販管費は、売上高の増加に伴う各種経費が増加したことにより絶対額は増加しましたが、その一方で、売上高比率は、コストを抑制したことに加え、合併に伴い各拠点及び管理部門を統合したことにより大幅に改善しました。



(百万円)	10/3期	11/3期
第1四半期	1,698	1,860
売上高比率	8.5%	7.0%

10/3期の売上高比率を算出する際に使用した売上高は、合併前の両社の売上高を単純合算しております。

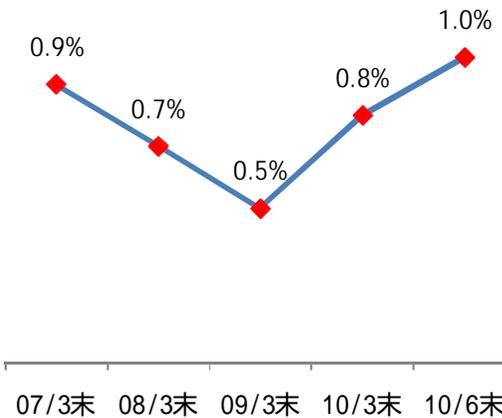
## 9. 財務の健全性を維持

**Point** 有利子負債は引き続き低水準で推移し、実質無借金経営を継続。また、自己資本比率は高水準を維持。

(百万円)	10/3期	11/3期 1Q
流動資産	46,108	47,101
固定資産	5,878	5,910
総資産	51,987	53,011
流動負債	24,567	25,873
固定負債	523	477
負債合計	25,091	26,351
株主資本	27,523	27,628
評価換算差額等	839	1,184
少数株主持分	211	217
純資産	26,895	26,660
負債純資産合計	51,987	53,011

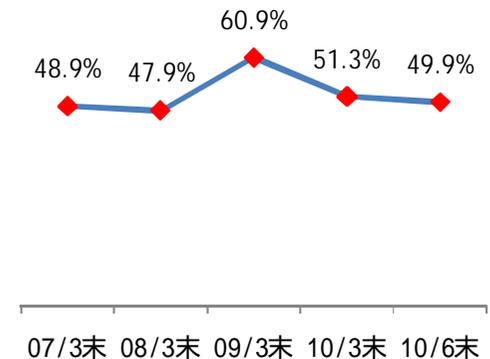
### 【有利子負債比率】

有利子負債 ÷ 自己資本



### 【自己資本比率】

自己資本 ÷ 総資産



## 10. 自己株式の取得

**Point** 自己株式の市場買付を実施。

資本効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため、09年10月の取締役会決議に基づき、自己株式の市場買付を実施し、09年11月2日～10年4月22日の期間において、**678,300株(693百万円)**取得しました。なお、当第1四半期におきましては、上記株数のうち**95,400株(112百万円)**取得しました。

## 11. 2011年3月期 通期連結業績予想

**Point** 2011年3月期通期業績予想は、2010年5月7日発表時の内容にて据置き。

### 第2四半期累計期間 業績予想

(百万円)	11/3期 2Q	前期末比
売上高	50,000	+31.6%
営業利益	1,800	+90.5%
経常利益	1,900	+136.8%
第2四半期純利益	1,250	+178.5%

### 通期 業績予想

(百万円)	11/3期 通期	前期末比
売上高	105,000	+18.9%
営業利益	3,900	+34.2%
経常利益	4,150	+38.9%
当期純利益	2,700	+44.5%

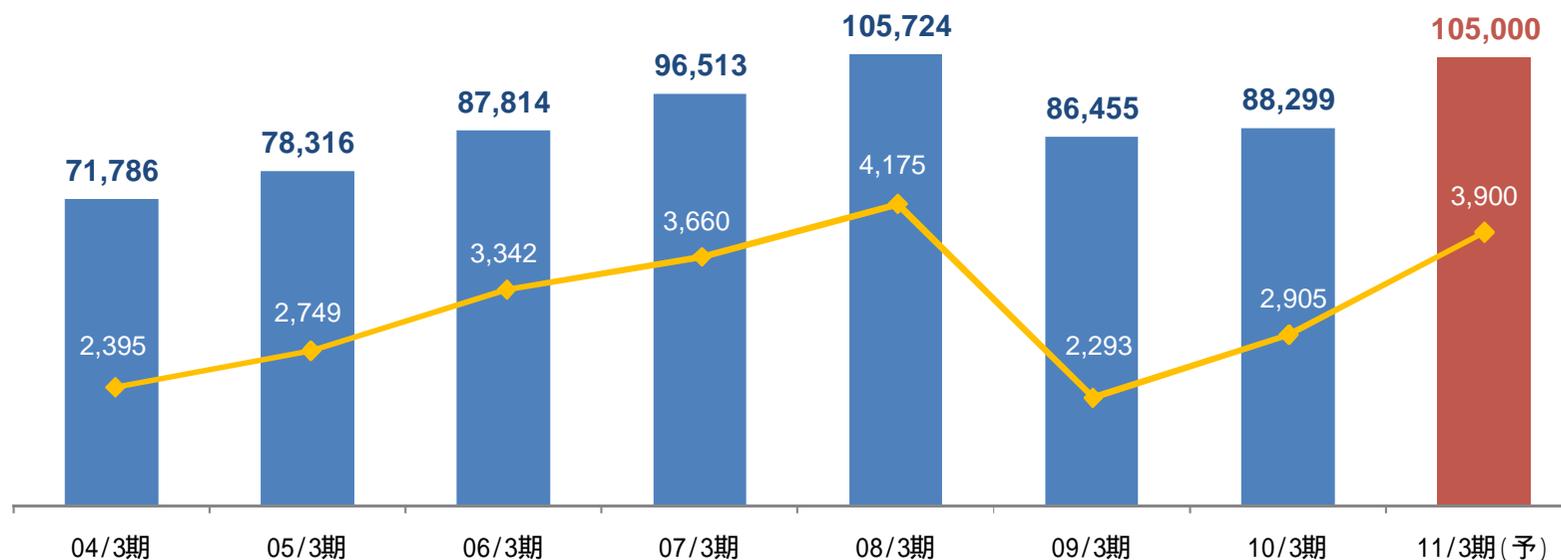
### 1株当たり配当金予想

年間配当金:40円  
 ・第2四半期末:15円  
 ・期末:25円

配当性向:30.3%

棒グラフ : 連結売上高  
 折線グラフ : 連結営業利益

単位: 百万円



本資料のお問合せ先 エレマテック株式会社 管理部 企画財務・IR・総務グループ Tel 03-3454-3526 Fax 03-3454-3306 E-mail:ir@elematec.com 10

本資料は、2011年3月期第1四半期の業績・事業概要に関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り、2010年6月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後、予告なしに変更されることがあります。